

## 2019年 4月臨時理事会議事録

開催日時：2019年4月22日（月）午前11時10分～13時50分

開催場所：岸記念体育館スポーツマンクラブ内

出席理事：金原昇、岡本依子（1号議案のみ出席）、阿部海将（1号議案途中で退席）、大橋卓生、安藤尚徳、小野原裕昭、小池隆仁、牧野文彦、高木伸幸、高橋美穂、舘和男、初瀬勇輔

出席監事：成松和彦

欠席理事：青山英世、金珍秀、桜岡東寛、佐藤公彦、瀬尾健一

欠席監事：阿部慎史

冒頭、金原昇会長より、挨拶がなされ、阿部海将専務理事の御母堂が逝去され、予算関係で必要な説明をした後退席しなければならない旨報告がなされた。

次いで、土屋茂夫事務局長より、理事総数17名のうち理事12名が出席しており、定款第36条第1項に定める定足数を満たしていることから、本理事会が有効に成立した旨宣言された。

議長を選定に移り、定款第33条第2項に基づき、理事の互選で会長・専務理事・常務理事の中から金原昇会長が議長として選定された。

議長は、審議に先立ち、岡本依子副会長が電話会議システムにより参加する旨説明し、同システムにより出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認したうえで、審議に入った。

### **I 審議事項**

#### **第1号議案 2019年度事業計画および予算**

大橋卓生専務理事及び阿部海将専務理事より、第1号議案資料に基づき、大要、次のとおり予算作成状況について説明がなされた。

《全体予算について》

- GP千葉の予算削減修正が完了しておらず、全体予算が2800万円のマイナスとなっている。
- 専門委員会予算をはじめ一般会計予算の再検討により、前回理事会時の全体予算より大きくマイナスを圧縮できたが、まだまだマイナス幅が

大きく、債務超過となるリスクが高く、引き続き GP 千葉予算の圧縮を検討する必要がある。

#### 《一般会計について》

- 一般会計については、両専務理事、安藤尚徳常務理事及び顧問税理士で協議して勘定科目を整理した。管理費が増加しているが、従来、管理費に計上すべき費用が一般事業費に分類されるなど計数管理がしづらくなっていたため、事業費と管理費を整理した結果である。
- 一般会計はマイナス2100万円となっているが、助成金事業の対象が経費（当協会自己負担分）と管理費である。この点、JOC 交付金（前年実績2068万5000円）の収入があることを加味すれば、一般会計の赤字幅は小さい。しかしながら、JOC 交付金を一般会計に計上しないのは、JOC 交付金は JOC 特別会計に計上される費用であり、また、交付金額も JOC が定めるところであり、確実性がなく、協会運営資金としてあてにすることはできないと考えているからである。
- 管理費については、東京オリンピック・パラリンピックまでは業務量が過大であり、本来の事務局3名のほか労働者派遣や税理士等外部の専門家を起用する必要があるからである。
- 業務執行理事経費は、WT や ATU の総会に役員が出席しないこととして大幅に削減することとした。
- 審判委員会提出の委員会予算を大会開催事業費に繰り入れるよう強化本部内で調整中である。
- 強化関連では、新規に次世代アスリート育成に関する助成金事業が決まり、特別会計として新規に口座を作って管理する予定である。この新規事業は、既に助成事業として決定しているアカデミーと連携可能で、アカデミーの協会自己負担分を次世代アスリート育成事業から支弁でき、一般会計の負担を減らすことができる。
- 2019年度の強化委員会の4つの選考会は、4つの選考会を通じて赤字にならないように予算を組んである。
- 2019年度のパラテコンドー委員会の1つ選考会は、約30万円の赤字を計上している。

ついで、質疑応答ののち、次のとおり満場一致で承認された。

#### (1) GP 千葉の実行予算の検討を行う

- ① 小野原常務理事が当協会 GP スタッフを招集して会議を開催し、本年5月下旬頃までに実行予算の検討を行う。

- ② GP スタッフには、上記①の会議までに、予算圧縮案だけでなく、スポンサーや寄附の獲得など収入増の案も検討する。
- ③ 上記①の会議では、検討した実行予算においてもマイナスが生じ、当協会が債務超過になるおそれがある場合、その対応策も検討する。

## **(2) 一般会計予算の暫定承認**

一般会計は、現在、調整中の内容もあるが、これまでの検討の結果、現状の事業を維持するためには、これ以上の大幅な減額が見込めないことから、本理事会に提出された一般会計予算を暫定的に承認する。

## **第2号議案 (一社) 日本スポーツフェアネス推進機構への加盟**

大橋専務理事より、第2号議案資料に基づき、(一社) 日本スポーツフェアネス推進機構への加盟について提案がなされ、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

## **第3号議案 役員改選関連**

大橋専務理事より、第3号議案資料に基づき、経営会議にて検討した本年度の役員候補者の推薦に関する提案がなされ、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

なお、スポーツ庁策定のガバナンスコード案で示されている役員の在任期間の制限や年齢制限などはガバナンスコード導入後でも猶予措置が設けられる予定であることに鑑み、今後の検討課題とすることが確認された。

## **第4号議案 千葉市からのGP千葉大会に関する助成金の入金口座の指定**

高木伸幸理事より、千葉市からのGP千葉大会に関する助成金の入金口座を当協会名義の下記の口座(WT会計口座)としたい旨提案がなされ、質疑応答ののち、議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

記

<省略>

## **II 報告事項**

### **1 スポーツ庁からの要請**

大橋専務理事より、スポーツ庁を通じて、連盟側から統合に向けた協議実施の要請が来ている報告がなされた。

スポーツ庁は、連盟側の説明を前提にしているきらいがあるため、一度、会長がスポーツ庁に事情説明に赴き、正会員総会での検討を経たうえで本件に対応する方向性が確認された。

## 2 事務局移転の進捗報告

(1) 大橋専務理事より、新事務所の定期建物賃貸借契約書が JSP0 から送付されていること、賃料・入居保証金とも従前理事会承認された範囲内であり、締結を進める旨報告がなされた。

(2) 事務局の引越日は6月9日（日）と決まった。

6月8日（土）には、新事務所へ移動する物品と廃棄物とを区別（シールを貼る）して荷造りを完了させることとなる。リース物品については継続し、主に大塚商會に依頼している。

9日（日）は、午前9時より引越の事前準備を行い、午後1時より引越作業を行う。作業は引越業者が担当する。

## 3 パラテコンドー委員会（意見交換）

パラテコンドー委員長高木伸幸理事より、パラテコンドー強化スタッフとして現役選手（健常者）を選任することの可否について意見交換をしたい旨提案があり、意見交換を行った。

高木理事より、現役選手を強化スタッフとする利点として、合宿中にパラ選手のスパリングパートナーとなることができ、人数の少ないパラ選手のみでスパリングを行うよりも競技力向上につながる事、及び2人1組になってミットをもちあうなどの練習においても、一人のスタッフにミットをもってもらい、選手2人が蹴るといった効率的な練習も可能となること、があげられた。これに対して、代表選手のデータについてオリ・パラ共通のソフトウェアで管理しているが、現役選手が強化スタッフになると、パラ選手だけでなくオリ選手のデータを閲覧できることとなり、当該現役選手が自らの試合のために当該データを用いることができ、不公平になってしまう、というデメリットがあるという意見が多く出された。

上記の意図を実現するのであれば、引退した直後の選手を強化スタッフとすることで達成する方向で検討することとなった。

《添付資料》

省略

上記は、第4号議案に関して、助成金入金先を省略としてほかは原本と相違ありません。

専務理事 大橋卓生